

2021(令和3)年度 エリザベト音楽大学事業計画

教職協働による学生に寄り添う継続したサポート体制の構築

2020年度は一年をとおして新型コロナウイルスの対応に追われました。しかしながら本学では、学生及び教職員が共に感染予防に努めた結果、6月以降は対面授業をほぼ通常どおり実施し、定期演奏会(10月)及びクリスマスコンサート(12月)を開催し、卒業・修了関連行事も無事終えることができました。国からの奨学金の他、学校法人独自の各種奨学金を複数回給付するなど、「cura personalis(一人ひとりに心を配る)」というイエズス会教育精神に基づく対応を実行いたしました。2021年度においても、前年度の経験を活かし、大学運営を円滑に進めて参ります。

2021年度の実業計画を作成するにあたり、エリザベト音楽大学長期計画(2016年度～2025年度)を基盤に据え、2022年度からの教育課程の見直し、2023年度創立75周年事業、2024年度外部認証評価受審に向けた各年度のプロセスを着実に前進させる所存です。

(1)経営面の計画

①建学の精神、教育理念の実現のために

- ・研修会・種々の行事他をとおしてイエズス会教育精神を学ぶ。
- ・学生・教職員がアジアのイエズス会学校の状況を知り、慈善演奏会をとおして交流を行う。
- ・カトリック大学連盟加盟大学との連携をとおして、建学の精神、教育理念の実現を目指す。

②大学教育、学生募集への取組み

- ・三つのポリシーを新たに策定すると並行して2022年度入学生から適用するカリキュラム改訂を行う。
- ・コロナ禍での本学の優れた教育及び大学独自の奨学金の広報に努め、学生募集活動に効果的に活用する。

③長期計画に沿った将来計画の策定

- ・今後10年にわたる施設・設備補修計画に基づき年度毎の補修を実施する。
- ・長期計画の中間点として、財政計画の修正を実施し、最善の方策を追求する。

④国際交流の推進

- ・新型コロナウイルスの脅威が過ぎ去った後を見据えた学生の留学準備学修を支援する。

(2)教学面の計画

①教学改革について

〔音楽学部〕

- ・2022年度入学生から適用する教育課程の見直しに合わせて、卒業後の進路を見据えたカリキュラムを構築し、各講義内容を精査し、充実を図る。
- ・前年度の経験を活かし、遠隔による講義及びレッスン方法について検討する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、学生及び教員が日頃の成果を発表する演奏・発表の場を創出する。

〔音楽文化学科〕

- ・各専修・領域の連携を深め、柔軟な指導体制の実現に引続き取り組む。
- ・音楽文化学科の学びの魅力を学外に幅広くアピールするための方策を整える。
- ・ICT教育の積極的な導入を図る。

- ・一人ひとりの学びの内容を進学・就職等、様々なかたちで社会に還元し貢献できるよう、段階的な達成目標をもって、教育内容に取り組む。
- ・音楽大学としての幼稚園免許課程にふさわしい音楽的能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な指導力の育成に取り組む。
- ・幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供する。

〔演奏学科〕

- ・ニューノーマル時代における演奏学科の魅力の伝え方を検討する。
- ・演奏技能維持のため教員の学内外での演奏活動を支援し、入学志願者へのアピール力を強化する。
- ・大学主催コンサートや学内での演奏会に学科教員全員が協力して関わることができるよう取り組む。

〔大学院〕

- ・オンライン等による留学生入学試験について検討を深め、海外からの留学生を確保する。
- ・魅力ある修士課程・博士後期課程とするための課題と改善策を検討する。
- ・音楽学部の奨学金付き入学試験制度開始以来見直されていない大学院カリキュラムについて検討を行う。
- ・著名な演奏家を招き、公開講座・公開レッスンを実施する。

② 学生生活支援について

〔学生生活〕

- ・学生の人間的成長と自立を促すため、各種行事を実施し、学生主催行事を支援する。
- ・生活面で課題を抱えた学生や障がいのある学生については、状況を把握し、必要に応じ各部署と連携して支援を進める。
- ・学修不振者に対して、教職員が連携して指導・支援を行い、退学者を減らす。
- ・LGBT等に関する理解を醸成し、必要とされる取組について検討を行う。

〔就職・進学サポート〕

- ・学生一人ひとりの卒業、修了後の進路について、学生生活センター室長、教養・教職主事、キャリア支援室長、学生生活担当職員、キャリアサポート委員会が連携して支援を行う。
- ・卒業、修了後の進路について、音楽大学の特徴を活かした分野・業種について、キャリア支援室長を中心に積極的に開拓する。
- ・学年別の進路オリエンテーション、YouTubeを活用した各界で活躍する先輩からのメッセージ等により、学生自らがキャリアについて考える機会を提供する。
- ・キャリア支援のための個別面談を行い、日本学生支援機構奨学生(給付型、貸与型)には、早期から就業に対する意識を醸成するための面談機会を増やす。
- ・教員採用試験受験生に対しては個別に指導・支援を行う。

③ 国内及び国際交流

〔国内外の交流〕

- ・国内(外)のカトリック大学との連携・交流活動・事業を計画し、実行する。
(・昨年度コロナ禍で延期となり、本年8月にカンボジア・セント・ポール大学で開催予定のASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)へ、本学学生及び教職員を派遣する。)

〔国外交流協定校との交流事業〕

- ・クリスマスコンサートの目的をアジアのイエズス会学校に対する支援として実現に努める。
(・四川音楽学院(中国)におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施(後期)。)
(・フィリピンの大学におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施(後期)。)

④学生募集活動及び広報活動について

〔学生募集活動について〕

・教職員による様々なチャンネルからの情報収集を継続的に行う。高校訪問、出前授業、音楽指導者とのコンタクト、進学関連業者による高校内での進路ガイダンス、各種音楽セミナー、コンクール、演奏会、ネット媒体などから、鮮度の高い情報を収集し募集活動に活かす。

・進学ガイダンスについては、昨年コロナ禍で開催する際に対面及びリモートのハイブリッド型で実施した経験を活かし、特に出願の見込まれる基幹エリアにおいては対面(レッスン、演奏会)を重視した形で、また開拓途上のエリアでは必要に応じてリモート(個別相談、レッスン)での実施を見据え、次のスケジュールで開催する。

5月22日(土)松山市、23日(日)熊本市、29日(土)防府市、長崎市、30日(日)下関市、佐賀市

6月12日(土)松江市、13日(日)米子市、19日(土)岡山市、大分市、20日(日)福岡市

7月18日(日)福山市 以上、全12会場の予定。

・オープンキャンパスは例年どおり6月・7月・8月に実施予定。昨年のコロナ禍での開催経験を活かし、事前予約制、来場者の参加イベント事前把握、遠方からの来場に対する交通費補助を継続する。

・第80回定期演奏会2日目に高校生対象の企画を実施。昨年好評だった定期演奏会リハーサル見学をメインに、音楽文化学科の講座、進学相談会を実施の予定(10月17日予定)。

・大学施設設備のPRと音大生疑似体験を兼ねた、ホール演奏体験企画を実施する(12月)。

・春のオープンキャンパスの位置付けで、スプリングフェスティバルを実施する(3月)。

〔広報活動について〕

・情報伝達ツール(大学案内、エリザベトアイなど)の作成と配布により大学の魅力を伝える。

・新年度より高校生向けの新たなWEBサイトを立ちあげ、初期認知度の向上に努める。

・時代に対応した情報伝達媒体(YouTube、ホームページ、新設WEBサイト及び各種SNSなど)を活用する。特に高校生からの支持が高いInstagramは、新設WEBサイトと連動させ、展開する。

・学生募集につながる外部団体(広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟他)との関係強化により大学の魅力発信と情報収集を図る。

・広島県・市、教育ネットワーク中国等各種団体の主催イベントに協力する(県立美術館コンサート、市役所コンサート、シャレオ大学生コンサート他)。

⑤教職員研修(SD・FD)について

・自己点検・FD運営委員会が中心となりSD・FDに関して、ゴーセンス記念講演研修会(4月)、教職員研修会(9月)及び授業参観等の研修計画を立案・実施する。

・教職員をオンライン研修会等へ参加させ、そのフィードバックを共有することにより研修の成果を多くの教職員の業務に活かす。

⑥創立75周年記念宗教合唱曲集刊行に向けて

・毎年、宗教合唱曲を国内外の作曲家に委嘱する事業を継続し、2023年に創立75周年記念宗教合唱曲集の刊行を目指す。

⑦演奏活動

2021年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
6/12(土)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ I (セシリアホール) 「スピリチュアルコンサート」 共催:(公社)日本産業退職者協会広島支部 ピアノ:中谷政文 リコーダー:鈴木俊哉 パイプオルガン:福原之織、吉田仁美

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
9/17(金) 予定	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演: 秋季修了生から選抜
10/16(土)	第80回定期演奏会 1日目(セシリアホール)
	オルガンソロ、声楽ソロ: オーディションによる選抜学生 指揮: 太田弦 演奏: エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
10/17(日)	第80回定期演奏会 2日目(セシリアホール) 10/17と同じ出演者
11/5(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ II 「マーティン・ヒューズ客員教授ピアノリサイタル」(セシリアホール) ピアノ: マーティン・ヒューズ(客員教授)
11/27(土)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮: 大谷研二、大井剛史 演奏: エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
3/3(木) 予定	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演: 春季修了生から選抜
3/6(日)	卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 出演: 卒業生から選抜 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 出演: 卒業生から選抜
11月～1月 2～3回 予定	企画 エリザベト音楽大学コンサートシリーズ III (セシリアホール) 演奏: 本学教員、旧師を予定

(3) 管理面の計画

① 施設設備改修と建物長期計画について

- ・建物の長期更新計画に基づき計画的な施設設備改修する。

② 委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)について

- ・業務内容の検証及び再検討を継続して行う。

③ 西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)について

- ・西条キャンパスの在り方や活用について、今後も継続的に検討する。

④ 女子学生寮(セシリアホーム)の管理運営について

- ・新型コロナウイルス感染防止を徹底するとともに、寮生満足度を向上させるため、学生生活上の指導・支援を行うことにより寮生活の質向上を図る。
- ・委託業者による寮監教育の徹底を図り、食事内容の改善と充実を実現する。

⑤ 付属音楽園・エクステンションセンター事業について

- ・園生獲得の取組みを継続する。
- ・受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

⑥ 財務について

- ・1号館(セシリアホール)・本館の建替えに向けて、基本金積立の原資の確保に努める。
- ・経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上